

⑤ 浜田地区 【水土里ネット浜口】

平成26年度水生生物調査及び土地改良施設見学会

〈水生生物調査〉

調査目的

浜口地区内の環境は水田や畑地が多く、それに必要な水は近くの蓮沼や八郎湖から供給されている。そのような環境に視点をあて、「生き物（水生生物）と環境」をテーマに、地域の水路を活用した体験学習を通し、自分たち周囲の環境に目を向ける態度を醸成する。

調査結果（児童の記録より）

① 生き物

- ①甲殻類～エビ アミ（イサジャアミ） ②巻貝類～タニシ ③魚類～ フナ、ウグイ、ドジョウ、ナマズ、種類不明の稚魚
④両生類～アマガエル ⑤昆虫～トンボ類の幼虫、ヤゴ、ヘビトンボの幼虫、アメンボ、ゲンゴロウ

② 水の状態

- ・水田の水の流れはほとんどなかった。（水量調整）
- ・コンクリート水路は藻類の付着は少なく、土壌水路の状態は水の流量が少なかった。

子どもの感想から意識の変化が見られた主な内容

- ・生き物の命のみならず「水」であることに気づかせ、水の大切さと水を確保するための工夫がなされている。（水路、蓮沼）
- ・コンクリート水路と沼近くでは、水生生物の種類、魚の大きさ（成長）に違いがあること。
- ・地域で食べているフナやワカサギは八郎湖や蓮沼に生活する生き物であり、そのために環境や水を汚さないことや、自分たちが環境を守っていくことが大切であること。

〈昆虫生息調査〉

調査目的

当町の基幹産業である農業やそれを支える環境の働きに視点をあて、「生き物（昆虫）と環境」をテーマに昆虫採集体験などを通して、地域の環境への関心を高める。

確認した昆虫（児童の記録など）

- ①トンボ目～アカネトンボ類、シオカラトンボ類
②チョウ目～モンシロチョウ、アゲハチョウ、モンキチョウ シジミチョウ類、ヒョウモンチョウ類
③コウチュウ目～テントウムシ類、オサムシ類、ゴミムシ類、シデムシ類 ソウムシ類、ハムシ類、コメツキムシ類、コガネムシ類
④バッタ目～バッタ類の幼虫 ⑤カマキリ目～カマキリ類の幼虫 ⑥ハチ目～アリ類 ⑦その他～ダンゴムシ（甲殻類、昆虫ではない）

児童の感想と今後の対応

- ・児童は昆虫生息調査に参加して、昆虫に強い興味を持ったようである。教科書と比較などしている児童もいた。昆虫の体の各部分の形や色などにも関心を持った児童が多かった。更に家族と今回の調査場所や日向山などで昆虫採集をしたいという希望を持った児童も多かった。
- ・採集を通して地域の環境への関心も向上したようである。
- ・栗の花が咲くこの時期は昆虫が多く出るので、調査時期としては良かったと思う。できれば秋の初め頃にもう一度生育調査の計画があれば、比較検討ができ、地域の環境への関心ももっと深まると思う。



活動体制	
実施主体	三種町浜口地域農地・水・環境保全組織
後援・連携	三種町浜口土地改良区
実施期間	6月25日、6月30日
参加者	浜口小学校4年生16名、指導員1名、調査補助員4名、小学校教諭3名、土地改良区役職員4名 浜口小学校3年生19名、指導員1名、調査補助員3名、小学校教諭3名
報道関連	
活動実施年数	6年目（H15年～）
連絡先	〒018-2407 山本郡三種町浜田字福沢13-1 三種町浜口地域農地・水・環境保全組織（三種町浜口土地改良区事務所内）TEL. 0185-88-8818
その他	

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット浜口（畠山 篤美）

○活動の目標及び達成率	目標 農業に関心を高め、環境の重要性を知ってもらう 達成率 100%			
○活動に対する評価	3年目の継続事業で、小学校の総合学習の一環として水生生物調査ができた。調査時期、調査ポイントの設定に検討を加え、児童生徒の興味・関心を高めるための工夫や継続された調査になるよう配慮し、児童生徒の今後の学習に生かされる調査にしたい。また、土地改良施設（揚水機場等）の見学については児童から理解され、機械の稼働による用水路に流れる様子を実際に見学できたことは効果的であった。			
判定基準	自己判定（達成度）	判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等	判定	評価等
1. 取組体制について		②運動の発展・拡大	A	専門家や退職した先生等を講師に協力して頂いた。
①役職員・組合員の参加	B	③運動の計画性	A	現地で直接施設を見せながら説明した。
②後継者育成の工夫	A	4. 運動の成果		
2. 活動の意義性について		a. 組織活性化	C	総代、組合員の意識向上にはまだまだで、さらに努力していきたい。
①基本理念の設定	A	b. 地域農業	B	子供たちには、将来地域の担い手農家として頑張ってくれることを期待している。
②地域の歴史等の伝承	A	c. 地域コミュニティー	A	各組織や小学校と連携を図りながら進めることができた。
③運動の先駆性	B	d. 地域資源管理	A	水資源の大切さや土地改良施設への理解が得られた。
3. 運動の継続性・発展性		5. 今後の課題等について		
①運動の継続性	A	・調査ポイントを多くして、生息する生物の違いを確認する。		

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他